

はじめよければすべてよし

このお話は、Uber もない、スマホもない時代のお話です。

私はマレーシアのクアラルンプール (Kuala Lumpur, KL) に住んでいました。

長い休みのとき、クアラルンプールからタイのバンコクへ旅行に行こうと思いましたが。

バンコクへ行くには、まず、私の住んでいるところからタクシーに乗って、KL セントラル駅へ行きます。そして、KL セントラル駅からクアラルンプール国際空港へ行く電車に乗ります。そして、空港から飛行機に乗って、タイのバンコクへ行きます。

「タクシーに乗って、電車に乗って、飛行機に乗って、タイへ行く」と聞いたから、特に大変なことはないと思うかもしれませんが。しかし、Uber もない、スマホもない時代は、最初の「タクシーに乗る」のが一番大変だったのです。

タクシーに乗ろうと思っても、Uber のようにタクシーを呼ぶことはできません。ですから、道を走っているタクシーを見つけたら、手を上げてタクシーを止めます。止まってくれるタクシーもあれば、止まってくれないタクシーもあります。

タクシーが止まったら「●●まで行きたいんだけど、行ける？」とタクシーの運転手に聞かなければなりません。私の行きたいところとタクシーの運転手の行きたいところが反対だったり、道が混んでいたりとすると、断られることも珍

しくありませんでした。

私が小さなスーツケースを持ってタクシーを探していると、一台のタクシーが止まりました。「KL セントラル 駅まで」と言うと、タクシーの運転手が手招きをしました。乗ってもいいようです。

私がタクシーに乗ってタクシーのドアを閉めたとき、タクシーの運転手がタクシーを探している女性を見つけました。タクシーの運転手とその女性はちょっと話をしました。その女性も私と同じように小さいスーツケースを持っていました。きっと、KL セントラル 駅へ行って、空港へ行くところだったのでしょう。

タクシーの運転手と女性が少し話をしました。そして、その女性もタクシーに乗ることになりました。全然知らない人と同じタクシーに乗ることがあると聞いたことがありました。私は「駅までいっしょに行くんですね」と思いました。

タクシーは 10分ほど走りました。もう少しで KL セントラル 駅に着くところで、私は「タクシーの料金はどうするんだろう。2人で半分ずつかな」と思いました。駅に着くと、メーターは「7.00」、7リング (Ringitt) でした。タクシーの運転手はメーターを見て、「1人5リング!」と言いました。

タクシーに乗っていた女性と私は、メーターより2リング安くタクシーに乗ることができました。タクシーの運転手はメーターより3リング多くもらえました。1人だけ得する人もいないし、1人だけ損する人もいないし、みんな得し

ました。私^{わたし}はタクシーの運転手^{うんてんしゅ}の計算^{けいさん}の速さ^{はや}にびっくりしました。

そして、一番^{いちばん}大変^{たいへん}な移動^{いどう}が気持ちよく終わったので、私^{わたし}は「楽しい旅行^{りょこう}になりそうだ」とおも^{おも}いました。

(1177^じ字)

(2020.4 Written by Ryoza SASAKI)



この作品^{さくひん}はクリエイティブ・コモンズ^{ひょうじ} 表示^{ひょうじ} - 4.0 国際^{こくさい} ライセンスの下^{もと}に提供^{ていきょう}されています。この作品^{さくひん}を利用^{りよう}する場^ば合^{あひ}は、「たどくのひろば」を出典^{しゅつてん}として示^{しめ}してください。

例^{れい}) 出典^{しゅつてん}: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.